

Bayer Medical Dialogue

日時：2020年**12月18日(金)**
19:00～20:00

シリーズ統計 2値アウトカムの統計解析の基礎



演者 大門 貴志 先生

兵庫医科大学 医療統計学教室 教授

【略歴】

- 2003年 大阪大学 大学院基礎工学研究科 情報数理系専攻 統計数理講座 博士後期課程修了
- 2003年 先端医療振興財団 臨床研究情報センター 研究員
- 2005年 静岡県立大学 大学院薬学研究科 医療薬学専攻 医薬品情報解析学分野 講師
- 2008年 兵庫医科大学 数学教室 講師 / 大阪大学 医学部附属病院 未来医療センター 特任講師
- 2012年 兵庫医科大学 数学教室 准教授
- 2014年 兵庫医科大学 医療統計学教室 准教授 / 臨床研究支援センター 副センター長
- 2015年 兵庫医科大学 医療統計学教室 教授

医学及び医療の様々な場面において、ある個体のアウトカム（結末、結果）は、それを排他的な二つの状態へ分類した2相 (dichotomous) アウトカム、或いは便宜上0又は1といった数値へ変換した2値 (binary) アウトカムとして観測されることがよくあります。このようなアウトカムに対して、複数の個体からなる集団としての要約を行うための統計量には、割合 (proportion)、率 (rate)、オッズ (odds) があります。また、複数の集団間でそれらを比較するための統計量には、差 (difference) 又は比 (ratio) があります。本講演では、これら統計量の定義を再確認しながら、いくつかの留意すべき事項をお伝えし、2相又は2値のアウトカムの統計解析のための基本的諸法を概括して紹介いたします。

Hot topic 高齢者におけるポリファーマシー ～実臨床でどう立ち向かうか～



演者 吉田 哲郎 先生

遠賀中間医師会おんが病院 循環器内科 / 名古屋市立大学循環器内科客員講師
自治医科大学循環器内科客員研究員 / 産業医科大学循環器内科客員講師

【略歴】

- 2002年 名古屋市立大学医学部卒業
- 2002年 名古屋市立大学大学院 医学研究科心臓・腎高血圧内科学入局
名古屋市立大学病院研修医
- 2004年 岐阜県立多治見病院 循環器内科
(上記施設勤務中の2007年4月名古屋市立大学大学院医科学入学)
- 2008年 三重厚生連いなべ総合病院 循環器内科
(上記施設勤務中の2010年3月に早期課程修了で名古屋市立大学大学院医学科卒業)
- 2010年 遠賀中間医師会おんが病院 循環器内科
- 2014年 名古屋市立大学循環器内科客員講師(併任)
- 2016年 自治医科大学循環器内科客員研究員(併任)
- 2018年 産業医科大学循環器内科客員講師(併任)

ポリファーマシーの問題は実地医療において、まさに“Elephant in the room” (大変な問題が起きているのに見て見ぬふりをしている状況) と考えられる。特に75歳以上の高齢者では、薬物療法の需要はますます高まっているが、加齢に伴う生理的な変化により薬物動態・反応性が一般成人とは異なる。また多くの場合複数の併存疾患をもっているため、それぞれの疾患を治療するための薬剤同士で薬物相互作用、つまり薬物有害事象が問題となりやすい。さらに75歳以上の高齢者における薬剤エビデンスも極めて少ない。このような背景をもとに高齢者におけるポリファーマシーに対する包括的アプローチを講演では議論したい。

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。
お寄せいただいた質問は講演の最後にご回答をいただく予定です。

- WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。

主催：バイエル薬品株式会社